平成２７年度　　事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	Ⅲ	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
目標		青少年の非行の未然防止に努める。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	児童・生徒のボランティア活動（ﾘﾝｸﾞﾌﾞﾙ及びﾍﾞｯﾄﾎﾞﾄﾙｷｬｯﾌﾟ集めに取り組む学校）	校	－	10	10	10	9	8	8		12
指標②	児童・生徒の街頭補導（指導）件数	件	2,011	328	231	170	101	133	231		300

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　地域との連携による青少年の健全育成	①　青少年の健全育成	・青少年のボランティア活動の機会提供を充実します。 ・青少年事業を実施する地域と関係機関との連携の強化を図るとともに、年齢期ごとに自然体験や社会体験、生活体験など各種体験活動の充実を図ります。
1-②	1　地域との連携による青少年の健全育成	②　非行などの未然防止	・青少年を取り巻く有害環境対策を進めるとともに、青少年補導センターを中心にした補導巡回の充実に努めます。 ・学校や家庭、地域、関係機関と有機的な連携を図り、問題行動の早期発見や非行の未然防止に努めます。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
1	1-①	少年の主張大会	教育委員会	社会教育G	S58	－	ソフト	一般会計	中学生が日ごろ考えていることなどを主張する場を設けることにより、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的とする。	H25	市内中学生	中学生（各中学校代表２名）12名が自分の体験や日ごろ感じていることなどを発表した。胆振地区大会の予選を兼ねており、ライオンズクラブとの共催。 開催日：平成25年６月３日（月） 場所：緑陽中学校		発表者人数	人	12	12	12	12	12	12
										H26	上記のとおり	上記のとおり 開催日：平成26年６月２日（月） 場所：幌別中学校									
		52311001								H27	上記のとおり	上記のとおり 開催日：平成27年６月１日（月） 場所：登別中学校		－	－	－	－	－	－	－	－
2	1-①	青少年育成指導経費	教育委員会	社会教育G	S37	－	ソフト	一般会計	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築することにより、登別市の担い手として模範となる青少年の健全育成を目的とする。	H25	青少年指導センター	青少年指導センターの運営を行った。 【活動内容】 ・通常巡回　652回 ・祭典等の巡回　89回 ・こども110番の家の拡充 ・青少年問題協議会の開催　１回 【指導員の構成】 ・専任指導員２名、青少年指導委員62名 ・青少年問題協議会委員13名	地方青少年問題協議会法、登別市青少年問題協議会設置条例、登別市青少年問題協議会設置条例施行規則、登別市青少年センター設置及び運営に関する要綱	巡回指導者人数	人	1,350	1,405	1,500	1,500	1,500	1,500
										H26	上記のとおり	上記のとおり ・通常巡回　777回 ・祭典等の巡回　112回 ・こども110番の家の拡充 ・青少年問題協議会の開催　１回 【指導員の構成】 ・専任指導員２名、青少年指導委員58名 ・青少年問題協議会委員13名	上記のとおり								
		52311003								H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－
3	1-①	成人祭	教育委員会	社会教育G	S29	－	ソフト	一般会計	新成人が大人としての自覚を持ち、意識向上を図ることを目的とする。	H25	登別市の新成人	新成人や専門学校生、市内に勤務する青年、高校生で組織する登別市成人祭実行委員会を組織し、成人祭を開催した。 開催日：平成26年１月12日（日） 場所：登別市民会館 出席者数：338人（対象者576人、出席率58.6%）		成人祭参加率	%	58.6	66.8	65	65	65	65
										H26	上記のとおり	上記のとおり 開催日：平成27年1月11日（日） 場所：登別市民会館 出席者数：378人（対象者561人、出席率66.8%）									
		52311004								H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定 開催日：平成28年1月10日（日） 場所：登別市民会館 対象者:559人（H27.7.31現在）		－	－	－	－	－	－	－	－

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

NO	名称	H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案
1	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	29	29	27	27	27	27
	合　計	29	29	27	27	27	27
2	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	577	566	755	790	790	790
	合　計	577	566	755	790	790	790
3	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	254	223	378	378	378	378
	合　計	254	223	378	378	378	378

Check

NO	第２期基本計画第３次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況：年度	内容	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業については、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につけることが大切であることから、少年が社会に向けての意見、未来への希望などを発表する機会を設け、少年の健全育成及び非行防止に対する市民の理解を深める契機となることを目的としている重要な事業であり、継続的に実施することが相当である。
	H26	上記のとおり		
	H27	今年度の実施状況から、一般参観人が少ない。 多くの市民に聞いてもらえるように、周知方法などの検討が必要である。		
2	H25以前	従来型の非行防止のみではなく、青少年の健全育成を推進する観点から、組織名称を青少年指導センターから青少年センターへ変更した。	維持	青少年センターでは青少年の健全育成のため、青少年指導委員の協力のもと専任指導員を中心とした巡回指導や不審者発生個所の巡回などを行っている。 市民からの自発的な協力が増加しているほか、多発する不審者の出没抑止のため、本事業の必要性は高いことから今後も市が継続的に実施することが相当である。
	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		
	H27	上記のとおり		
3	H25以前	平成23年度までは、マリンパークで成人祭を実施していたが、平成24年度より、市民会館での実施となった。（実行委員会により決定）	維持	登別らしい成人祭を実施し、成人としての意識向上を図る機会であるとともに、市内の若い世代で構成される実行委員会が自ら考え、企画して実施することにより、登別市のまちづくりを担う人材育成にも寄与していることから、今後も継続する必要がある。
	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		
	H27	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H28以降】
1	本事業は、青少年が社会に向けて意見などを発信する重要な機会であることから、今後も事業を継続する。 なお、一般参加については、参観人が少ないことから、周知・啓発方法など、多くの市民に発表を聞いてもらうための方法を検討する。
2	青少年を取り巻く状況は年々変化しており、青少年センターの活動についても毎年精査し、目的に沿った行政の役割を果たすことに努めていく。
3	実行委員会を中心とし、今後も時勢にあった成人祭を実施していく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																						Check			Action
									事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】										第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案						
4	1-①	子ども会活動振興助成金	教育委員会	社会教育G	S62	―	ソフト	一般会計	子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会を支援することにより、子どもたちに生きる力と健全な心身の育成を図ることを目的とする。	H25	登別市子ども会育成連絡協議会	登別市子ども会育成連絡協議会の活動を支援するため、一部の経費のため補助金を交付した。 【主な事業】 第38回こいのぼりマラソン大会、パン作り体験学習、育成者研修会、登子連紙の発行など	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	子ども会加入者数	人	2,286	2,227	2,300	2,300	2,300	2,300	国庫支出金									H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	子ども達の健全育成に努め、次世代を担う子どもたちの生きる力を育くむため、同協議会への支援は必要である。	行政だけでなく地域の関係者の協力が必要不可欠であるため、今後も同協議会への支援を行うことで、青少年の健全育成を図っていく。
																						道支出金														
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【主な事業】 第39回こいのぼりマラソン大会、パン作り体験学習、育成者研修会、登子連紙の発行など	上記のとおり									地方債									H26	上記のとおり			
														子ども会事業参加者数	人	323	148	150	150	150	150	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり 【主な事業】 第40回こいのぼりマラソン大会、パン作り体験学習、育成者研修会、登子連紙の発行など。 登子連50周年事業（体験活動、講演会、記念誌）	上記のとおり									一般財源		830	830	830	830	830	830			H27	上記のとおり			
		52311006																				合 計		830	830	830	830	830	830						
5	1-①	登別市学校支援地域本部事業	教育委員会	社会教育G	H23	―	ソフト	一般会計	地域で学校をサポートするシステムを構築することにより、地域教育力の向上を図ることを目的とする。	H25	市内小中学生	学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施した。 【実施内容】 ふれあい農園、土曜寺子屋、音楽を楽しむ会等	「学校支援地域本部事業」実施委託要綱	学校支援地域事業参加者数	人	3,784	4,231	4,000	4,000	4,000	4,000	国庫支出金									H25以前	平成22年度までは登別市子ども地域交流プラザとして実施していた事業を、より地域の教育力を高めることができるよう平成23年度から学校支援地域本部事業とした。	維持	各中学校区に配置しているコーディネーターが、企画立案や学習支援活動などのボランティア発掘など、積極的な活動を行っていることにより、学校・家庭・地域との良好な関係を構築して、事業展開が出来ており、今後も継続して事業を継続する必要がある。	学校・家庭・地域の連携体制が構築されてきていることから、今後も引き続き多くの地域の方の協力を得ながら、学校支援活動の充実を図っていく。
																						道支出金	学校支援地域本部事業補助金	1,300	1,233	1,287	1,426	1,426	1,426						
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債									H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
														学校支援地域ボランティア登録者数	人	35	43	50	50	50	50	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源		1,551	1,536	1,545	1,615	1,615	1,615			H27	コーディネーターが活発に活動することにより。学校・家庭・地域との連携が進められ、良好な事業展開が図られている。			
		52311007																				合 計		2,851	2,769	2,832	3,041	3,041	3,041						